

(様式 5 : 全対象事業共通)

令和 6 年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	県民みんなで支えるバイオマスエネルギー実施事業
補助事業者名	愛媛県
補助事業の概要	魅力向上による誘客促進に取り組む「とべもり+（プラス）エリア」（愛媛県立とべ動物園、愛媛県総合運動公園、えひめこどもの城、えひめ森林公園）において、令和 10 年度までのゼロカーボン実現を目指すため、県民や事業者から回収した廃食用油を原料としたバイオディーゼル燃料を使用したバイオマス発電設備の整備及びその後の運用に向けた調査及び設計を実施した。
総事業費	5, 500, 000 円
補助金充当額	5, 500, 000 円
事業終了時点で達成すべき成果目標【必須】 （提案書から転記）	○設計の進捗率 100%
事業終了時点で達成すべき成果目標の達成状況【必須】	<p>バイオマス発電設備は、昼夜安定した電気を必要とするととべ動物園と、夜間にスポーツ競技等による電力使用がスポット的に発生する総合運動公園の 2 箇所を設置場所として調査・検討を行った。</p> <p>とべ動物園では、全時間帯で 100kW 程度以上の電気使用量であることを考慮し、定格出力 90kW の常用発電機 1 台の設置案とし、仕様検討、設置場所選定、費用積算等を行った。</p> <p>また、総合運動公園では、定格出力 200kW の発電機 3 台の設置案とし、仕様検討、設置場所選定、費用積算等を行うとともに、常用発電とデマンド低減対策発電を比較検討し、最適な運用方法の検討を行うなど、仕様を満たす設計は完了した。</p> <p>なお、原料である廃食用油は、国内外で S A F（持続可能な航空燃料）の原料として需要が拡大しており、燃料原料としての取引価格が高まっているため、回収量の維持が難しくなっていることが判明し、経済性を試算したところ、現状の燃料単価では、当該バイオマス発電設備の導入によりランニングコストが大幅に悪化することが判明した。</p>
事業終了後、将来的に達成すべき成果目標【任意】 （提案書から転記）	【目標年度：令和 8 年度】 ○廃食用油の回収場所数 80 か所 【目標年度：令和 10 年度】 ○とべもり 3 施設における電力消費に伴う CO2 排出量 0 t-CO2

	○他地域からの視察件数 5件／年 【目標年度：令和12年度】 ○3施設への来場者数 1,872千人	
事業終了後、将来的に達成すべき成果目標の達成状況 【任意】		
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 （※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載）	契約（間接補助）の目的	バイオマス発電設備導入等に向けた調査・設計業務（委託）
	契約の方法	随意契約
	契約の相手方（間接補助先）	株式会社ダイキアクシス・サステイナブル・パワー
	契約金額（間接補助金額）	5,500,000円
来年度以降の事業見通し		

（備考）

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 事業終了時点で達成すべき成果目標の欄、事業終了後、後年度で達成すべき成果目標には、それぞれ、補助金応募申請書提出時に設定した、「①事業終了時点で達成すべき成果目標」、「②事業終了後、後年度で達成すべき成果目標」の記載を転記すること。
- 3 事業終了時点で達成すべき成果目標の達成状況、事業終了後、後年度で達成すべき成果目標の達成状況の記載については、それぞれに対応する形で、成果目標の達成状況及び達成状況についての評価を記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。